

# ほけんたいり3月

暖かい日が少しずつ増えてきました。この頃に降る優しい雨を『甘雨』と言います。草木に柔らかく注ぎ、成長を促す雨と言う意味だそうです。皆さんのこの1年にも色々な人の温かい思いや言葉がこの甘雨のように降り注いでいたかもしれません。



## 2月の病気やすみ

発熱6日/5人 昨日熱…4日/4人 咳…2日/2人 胃腸炎…3日/1人

発疹…1日/1人 体調不良…2日/2人 大事取って…2日/2人

りんご病(伝染性紅斑)…1人 《感染症》ヒトメタニューモウィルス…4日/1人

**特記** りんご病(伝染性紅斑)報告…16人(3/1 現在)



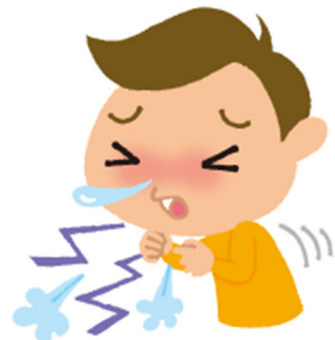
## ヒトメタニューモウィルスって?

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症をひきおこすウイルスの一種です。1~3歳の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。1回の感染では免疫が獲得できません。何度か繰り返して感染してしまいましたが、年齢が上がるにつれ徐々に免疫が付き、症状が軽くなる傾向にあります。

- **咳** (多くの場合、1週間程度続きます)
- **熱** (多くの場合、4~5日程度続きます)
- **鼻水**

悪化すると、以下のような症状が出ることもあります。

- **ゼイゼイ(ヒューヒュー)という呼吸**  
(喘息様気管支炎、細気管支炎)
- **呼吸困難** など



症状はRSウイルスに似ており、見た目だけでは診断できません。感染の流行を防ぐためにウイルスの鑑別を行うことも大切ですので、医師から検査を勧められることがあります。

・細菌の同時感染にも注意

同時に細菌にも感染してしまうことも少なくありません。熱が4日以上続く場合は、細菌感染の可能性があり、抗菌薬が必要となることも。熱が長引く時は中耳炎や細菌による肺炎などをおこしていることがあるので、もう一度早めに受診しましょう。また、おくすりが出たら、医師や薬剤師の指示通りにのみましましょう。

## 3月から6月は流行のピークです

ヒトメタニューモウィルス感染症は、1年中発症が確認されていますが、3~6月にかけては、とくに感染者数が増加する傾向にあります。春先から梅雨の時期までは、保育園・幼稚園や小学校で流行がないかどうか、注意しましょう。

